

7 日本発の手術支援ロボットです

「hinotori(ヒノトリ)」は、医療用ロボットメーカー、(株)メディカロイドが約5年の歳月をかけて開発した日本発の手術支援ロボット※です。開発拠点がポートアイランドの神戸医療産業都市にあるメリットを生かし、医療機関の先生方に試作品を使っただき、返ってきた改善点を次の試作に生かす、ということを繰り返しました。一番大変だったのは、執刀医の感覚を工学の技に落とし込むこと。コンパクト性と人間工学に基づく設計にも

こだわりました。2020(令和2)年12月に1例目の手術が行われて以来、症例数は400を超えています。全国の施設に18台(21年度末実績)を納入し、安全に使用していただくためのトレーニング施設も3カ所開設。今後は、対象診療科の拡大や海外進出はもちろんのこと、「神の手」と呼ばれるような熟練医師による操作技術をデータ化して後継医師の育成に生かすなど、新たな展開も考えています。(株)メディカロイド広報担当 山本泉さん

※開腹せず体に開けた穴から内視鏡や鉗子(かんし)を挿入し、画像を見ながら施術する「腹腔鏡手術」において、より精緻な手技を可能とするロボット。「人間の腕と手」に近い滑らかな動きが特長

オペレーションユニット

4本のアームは多様な動きにより人の腕のような動きを実現。1本に内視鏡カメラを取り付け、残りの3本に、手技に用いる鉗子を取り付ける。



医師が見ている3D画像

サージョンコックピット

医師がロボットを操る操作台。3D内視鏡画像を見ながら2本のハンドコントロール、フットスイッチなどで操作する。コックピット自体がさまざまな姿勢に対応することで術者の疲労を軽減。

メディカロイド

ひょうごのSDGs | 県や県内の企業・団体が進めるサステナブルな活動を紹介

8 朝が楽しい、たぶん今日が楽しい HYOGOアサ@プロジェクト

兵庫県で迎える朝が魅力的な時間となるよう、公民連携で取り組むプロジェクトがスタート。朝食欠食などの生活習慣の改善、朝を健康に過ごせるような体験づくり等、企業と連携して朝にまつわるさまざまな取り組みを発信します。(県地域振興課)



【取り組み例】 ※実施時期など詳しくはホームページへ



朝食レシピBOOK
(味の素株)

簡単に&無理なく朝食を食べることをレシピブックでサポート。食育イベントを実施しPRを展開。(10月15日)イオンモール伊丹昆陽



はばタンチャレンジ
(大塚製薬株×株セブン-イレブン・ジャパン)

LINEアカウント「はばタン情報局」で、3日連続(朝6時~9時)クイズに正解すると、商品がもらえるキャンペーンを実施。



おしゃべり自販機
(ダイドードリンコ株)

商品購入時、齋藤元彦知事の声で朝の過ごし方の大切さを呼びかける自動販売機を県内に設置。

県地域振興課
078-362-4221 078-362-3950

アサ@プロジェクトの
ホームページはこちら



兵庫県庁SDGsWEEK 10月24日(月)~30日(日)

全庁を挙げてSDGs関連施策を集中的に実施します。
●ひょうごSDGsシンポジウム
(10月24日(月)13時~15時、県公館、要申し込み) など
●県総合政策課 078-362-9006 078-362-4479

シンポジウムの
詳細・
申し込みは
こちら



9 障害者スポーツで 地域をつながり

県内で活躍する女性をたたえる「ひょうご女性未来・^{はなだ}繚賞※」を昨年受賞した清水真澄さん。結婚を機に移住した南あわじ市で、障害者スポーツを通じて地域を盛り上げています。活動のきっかけや今後の展望について伺いました。
(インタビュー 本紙編集部)



清水 真澄(しみず ますみ)さん

1982(昭和57)年、福島県南相馬市生まれ。専門学校卒業後、理学療法士として兵庫県へ。23歳の時にリハビリ中の患者を通じてシッティングバレーボールに出会い、3年後、障害者スポーツの指導員資格を取得。現在は神戸市西区の県立障害者スポーツ交流館に勤務。

活動を始めたきっかけは、

南あわじ市に移った時、「地域には良い人が多いのに、意外とお互いのことを知らない」と感じ、指導員をしていた障害者スポーツで交流できないかと2012(平成24)年に体験会を開催したのが始まりです。

障害者スポーツの魅力は、

子どもから障害者、高齢者まで誰もが一緒に楽しめ、主役になれるところです。障害のある人がいればみんなでカバーし合い、高齢の人が得点したときには歓声が上がって、最後は笑顔で「また参加

したい」と言ってくれることも。それがうれしくて続けています。

今後の目標は、

3年前に始めた南あわじ市の卓球バレー大会は年々参加者が増え、県内各地から人が訪れます。そこで、昨年は島内で地域活性化に取り組む若者や移住者のブースを出展。障害者スポーツを楽しんでもらいながら、地域の魅力を伝える活動を広げていきたいです。



卓球バレーの様子。卓球台を囲んで座り、6対6でプレー。

※ひょうご女性未来・繚賞…兵庫の女性たちが集い、男女共同参画社会実現への寄与を目的に活動する「ひょうご女性未来会議」が、さまざまな分野で活躍する女性を表彰する制度。

ひょうご女性未来会議事務局 078-360-8550 078-360-8558

卓球バレー大会についてはこちら

